

— “クボタ・ショック” から6年 —

アスベスト被害の 救済と根絶をめざす 尼崎集会に参加しましょう!

参加自由
無料

6月25日(土) 正午～4時半

小田公民館 JR 尼崎駅東北すぐ 電話(06-6495-3181)

6年前の6月29、30日—クボタは79名に及ぶ自社・関連企業アスベスト被害の死亡労働者数を明らかにし、また、30日には前田さん、土井さん(共に故人)、早川さんの3人が、周辺住民被害者としてクボタから見舞金を受取ったことを、患者と家族の会や支援団体と共に明らかにしました。

(公害としてのアスベスト被害)

このクボタ・ショックによって、まさに隠されていたアスベスト被害の実態が一気に人々の目にさらされることになりました。

クボタ旧神崎工場周辺の石綿被害者は現在、私たちの確認しているだけですでに240人を超え、そのうち、3月末で212人にクボタが「救済金」を支払っています。また、クボタの工場内の被害者も161人(社員)を数えています。何と、尼崎市の東部だけで400人ものアスベスト被害者が確認されているのです。

2009年度までに中皮腫の死亡者は全国で約16,000人となっていますが、このうち労災保険や石綿救済法の認定を受けている人は9,000人不足。労災補償も救済法認定もされていない人がまだ半分近くおられるのです。(石綿による肺がんはさらにひどい実態)

私たちはクボタ・ショックを忘れることなく、**あまりにも悲惨な結果をもたらしているアスベスト被害の実態**を広く世間の人々に知ってもらうため、今年もまた尼崎集会を計画しました。ぜひぜひたくさんご参加下さい!

主催：中皮腫・アスベスト疾患 患者と家族の会／同 尼崎支部／尼崎労働者安全衛生センター

後援：ひょうご労働安全衛生センター／関西労働者安全センター／石綿対策全国連絡会議／全国労働安全衛生センター連絡会議／中皮腫・じん肺・アスベストセンター／ 尼崎市

お問い合わせは…TEL・FAX 06-4950-6653 尼崎安全センターまで

6月25日(土) / 正午より

□ 映像で振り返るクボタ・ショック

明日への伝言 — 矢木龍八からのメッセージ

■ アスベスト被害者は訴える

■ 尼崎市石綿被害調査結果報告 (何が明らかになったのか)

……市保健所担当者・尼崎安全センター

□ 音楽と落語で元気をつけよう……平地千鶴子さんと壽 文寿師匠

■ 泉南など環境被害ネットワーク……泉南、奈良、羽島、河内長野ほか

■ アスベスト関連疾患治療の現段階……名取雄司 (アスベストセンター所長、医師)

□ 日本と韓国のアスベスト環境被害……村山武彦 (早稲田大学)

■ フランス・アルネスボアのアスベスト被害……バンジャマン・リザニユック

□ 肺がんの認定を拡げる闘いと裁判原告

□ 2011 アスベスト被害根絶尼崎宣言

ご案内

アスベスト写真展

AM10時より ホール前ロビーにて

アスベスト相談会

AM10時~正午 公民館2Fにて

集会、写真展、相談会とも
どなたでも参加できます。(無料)



▶▶こちらにも行きませんか— (参加自由、無料)

「アスベスト被害の深層を問う集い」 6月26日(日) AM9時半~12時半

- ・アスベスト被害に関するマンガ共同制作 (京都精華大学ほか)
- ・横浜市鶴見区旧朝日石綿工場周辺の健康被害

場 所：神戸大学(灘区六甲台町1-1) 六甲ホール

主 催：神戸大学人文科学研究科倫理創成プロジェクト (松田 毅 TEL 078-803-5502)